

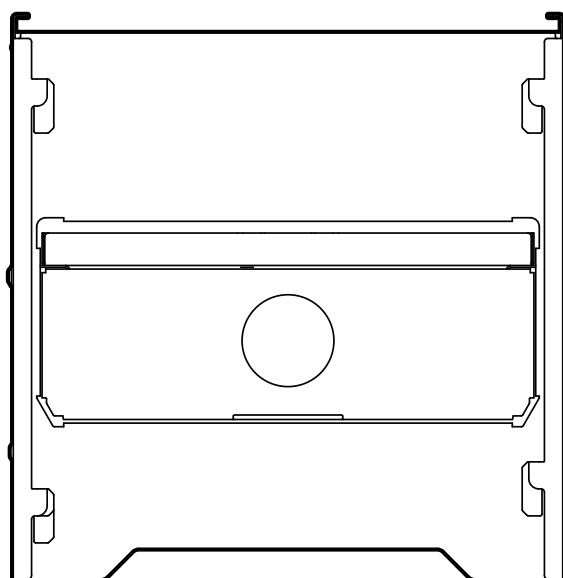
取扱説明書

BARBECUE GRILL

イー・エヌ シービー
型式 EN-CB1

EN CUBE

— BARBECUE GRILL —



使用燃料：炭、薪

このたびは EN CUBE バーベキューグリルをお買い求めいただきまことにありがとうございます。

- ・ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- ・この「取扱説明書」は、大切に保管してください。

お願い

- ・ご使用により若干の変形や歪みが発生することがあります。異常ではありません。
- ・本体に錆が発生することがあります。異常ではありません。
- ・砂利の上で使用するときは、板を敷くなどして平らにして設置してください。
- ・公園や河川敷などの公用地やキャンプ場などの管理地でご使用の場合は、焚火台シート（市販品）を敷いて、ご使用ください。
- ・焚き火や火気類の使用が禁止されている場所では、絶対に使用しないでください。
- ・成形加工をする過程で、金属面に加工キズが付くことがありますが、異常ではありません。

安全のために必ずお守りください

・誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を下記の表示で区分し、説明しています。

 危険	誤った使いかたをしたときに、人が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を表示しています。
 警告	誤った使いかたをしたときに、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を表示しています。
 注意	誤った使いかたをしたときに、人が軽傷を負う可能性や物的損傷の発生が想定される内容を表示しています。

・お守りいただく内容を、次の絵表示で分けしています。

 「禁止」されている内容です。	 「注意」していただく内容です。	 必ずしていただく「指示」内容です。
---	--	--

危険



指示

屋外で使用する

風通しの良い屋外で使用してください。
テント内、車内、室内など換気ができない場所では絶対に使用しないでください。
火災や一酸化炭素中毒などの原因になります。



使用禁止

ガソリン・灯油・アルコールなどは使用しない

着火剤や燃料として、ガソリン、灯油、液体アルコールなどは使用しないでください。やけどや火災の原因になります。



警告



使用禁止

本製品に異常が見受けられた場合はただちに使用を中止する

異常のあるまま使用すると思わぬ事故につながるおそれがあります。



禁止

スプレー缶厳禁

スプレー缶やカセットコンロ用ボンベなどを、バーベキューグリルに近づけたり、周囲に放置しないでください。
熱で缶の圧力が上がると爆発のおそれがあり、危険です。



禁止

不安定な場所で使用しない

水平で安定する場所でご使用ください。
転倒して、火災ややけどのおそれがあります。



指示

火を監視する

炭や薪が爆ぜたり、火の粉が飛ぶおそれがあるため、常に火を監視して燃え移りなどが発生しないように注意してください。



指示

可燃物から離す

使用する前に可燃物や熱による影響を受けやすいものが周囲にないかご確認ください。



指示

使用前に必ず点検をする

点検をして、老朽化や損傷が認められたり、本製品の状態が疑わしい場合は直ちに使用を中止してください。本来の性能を発揮しないおそれがあります。



使用禁止

ジェル状着火剤のつぎたし使用禁止

燃焼中にジェル状着火剤のつぎたしは絶対にしないでください。
引火および着火剤が飛び散ることがあり、やけどや火災の原因になります。



指示

オープン温度は 330℃以下で使用する

オープンの温度が上がりすぎないように、燃料の量を調節してください。
熱の影響で、灰受けが大きく歪むおそれがあります。



使用禁止

強風下では使用しない

強風下での使用は危険ですので、使用しないでください。また、使用中に風が強くなったら使用を中止してください。



禁止

お子様やお年寄りに作業させない

お子様やお年寄りに組み立てや火の番などの作業はさせないでください。
やけど・けが・火災の原因になります。

警告



炭・薪以外は使用しない

燃やしていけないものに次のようなものがあります。合板・つや加工あるいは化成処理された木材、液体燃料、大量の紙類、家庭から出るごみ。燃やしてはいけないものを燃やすと非常に高温になり、本体の損傷につながります。また、有害な煙を放出して環境汚染の原因になります。



燃焼中は移動禁止

燃焼中は移動させないでください。灰などが落下して火災のおそれがあります。



改造使用の禁止

改造して使用しないでください。本来の性能が出なくなるだけでなく、安全性を損ない、火災など思わぬ事故の原因になります。

注意



組み立て及び分解・収納の際は指や手をけがしないように注意する

組み立て及び、分解・収納の際は手袋を着用し指や手をけがしないようにご注意ください。また本製品には鋭利な部分がありますので、けがにご注意ください。



灰処理及び、分解・収納の際は、製品が冷えてからおこなう

使用後は完全に燃料が燃えつき、充分に冷えたことを確認してから灰処理及び、分解・収納をおこなってください。やけどやけがの原因になります。



高温部接触禁止

燃焼中や火が消えてしばらくは、高温部、オーブン、蓄熱したストーン、本体の燃焼室部分に手をふれないでください。やけどのおそれがあります。火起こしや燃料の継ぎ足しは、耐熱手袋を着用する他、火ばさみを使用するなど、やけどにご注意ください。



使用後の残り火の始末に充分注意する

残り火が消え、灰の温度が充分に下がってから灰処理をおこなってください。やけどや火災の原因になります。



高温部に注意

燃焼中や火を消した直後は、本体から高温の熱気が出ています。手や顔などを近づけないでください。



耐荷重を超えるものを載せない

破損の原因になります。



テント付近でバーベキューグリルを使用するときの注意

風向きによっては、バーベキューグリルからの排気がテント内に流れ込み、一酸化炭素中毒のおそれがあります。



水を掛けて消火しない

緊急時以外は水を掛けしないでください。急激な温度変化により破損・変形の原因になります。



燃焼中は水を常備する

燃焼中は緊急時に素早く消火できるように水を必ず常備してください。



移動・運搬するときの注意

バーベキューグリルを移動する前に、必ず火を消し、温度が充分に下がってから移動してください。やけどの原因になります。バーベキューグリルを車などで運搬される場合は、灰処理をおこない、分解して収納バッグに入れてください。組み立てたまま運搬すると、製品や周囲が損傷するおそれがあります。



お子様の手の届かないところで保管する

けがや事故の原因になります。



片側にはみ出す等不安定な状態でなべを置かない

置いたなべが落下し、やけどのおそれがあります。



ハンドルを振り回したり、投げたりしない

お子様がハンドルを振り回したり、投げたりしないように注意してください。けがの原因になります。



湿った炭・木材や樹液の多い木材は燃やさない

白煙が多く出て燃えなかったり、過度の炎が出たりする原因になります。



おき火の状態で焼き網をのせる

炎が直接あたると焼き網が変形するおそれがあります。変形した焼き網を無理に引き抜かないでください。けがの原因になります。



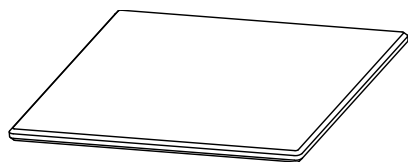
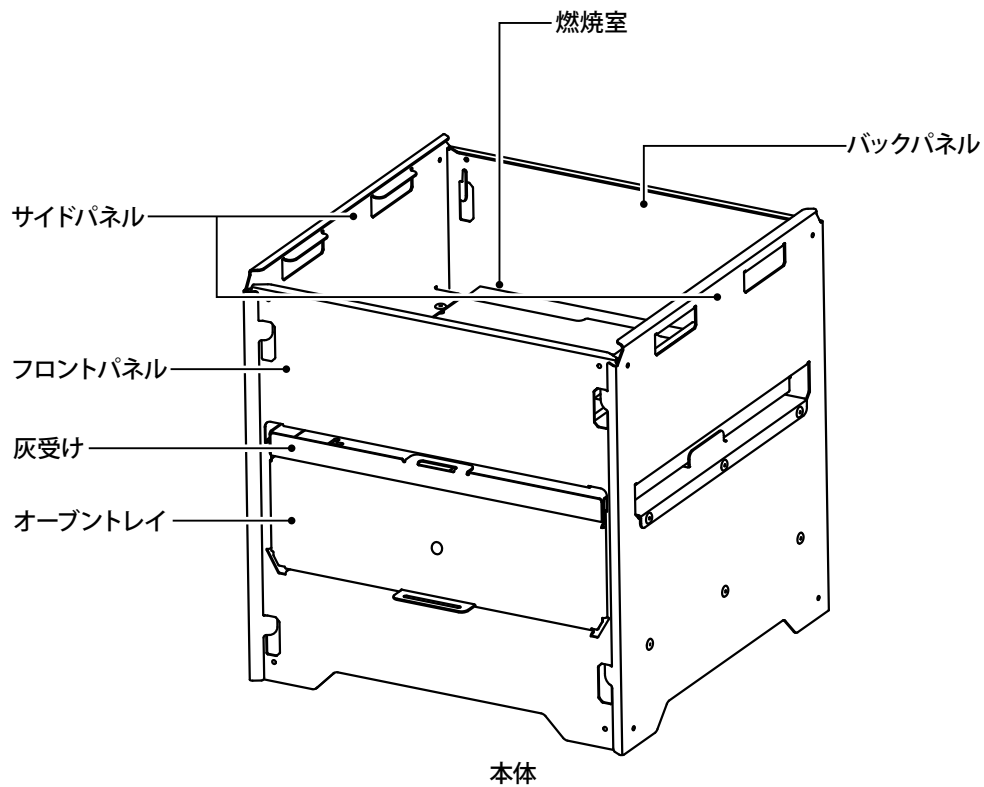
ストーンを落とさない

ストーンに強い衝撃をあたえると破損し、けがの原因になります。

〈おき火とは〉

着火した炭が炎をあげずに、赤く静かに燃えている状態です。おき火は火力が安定しており、遠赤外線効果もあり調理に適しています。

セット内容（各部のなまえ）

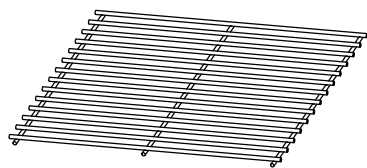


ストーン



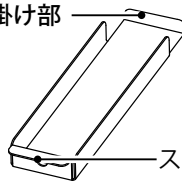
温度計

開梱時、蝶ナット、ワッシャーは
温度計に取り付けてあります。



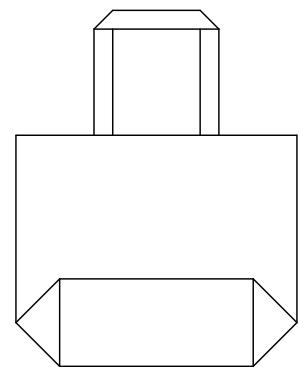
ロストル

オーブントレイ
引っ掛け部



スクレイパー部

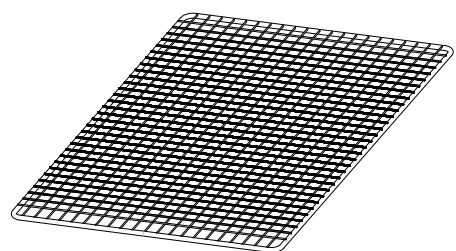
ハンドル



収納バッグ



炭床



焼き網
(幅 300mm × 奥行 450mm)

使用前の準備

準備をする前にケガしないように保護具（手袋など）を着用してから作業してください。

バーベキューグリルを取り出す

1 上面緩衝材を取り出す。

上面緩衝材上を取り、上面緩衝材下を取り出す。

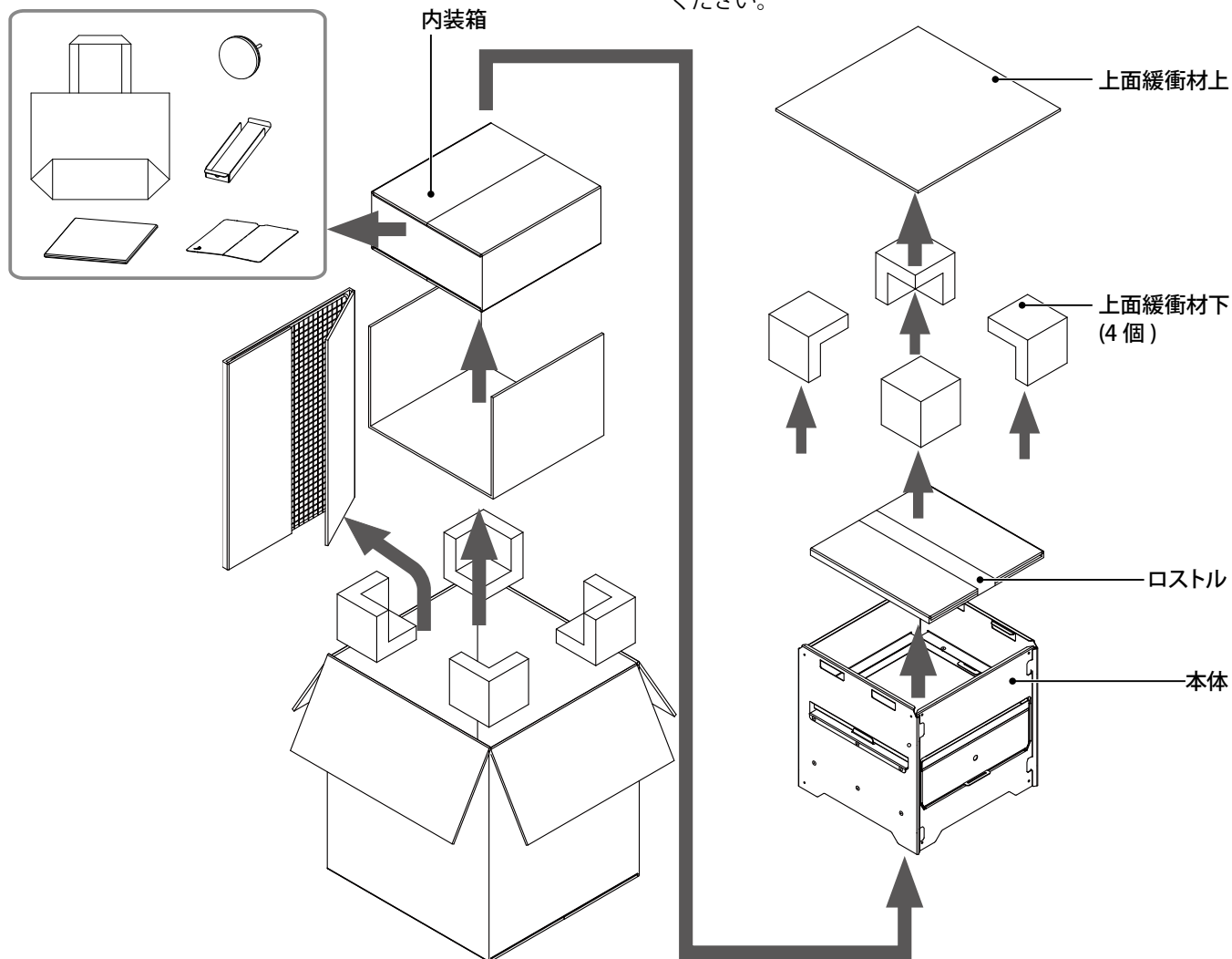
2 ロストルを取り出す。

ロストルの緩衝材を取り除いてください。

3 本体をきず付けないように取り出す。

4 ストーン、炭床、ハンドル、温度計を取り出す。

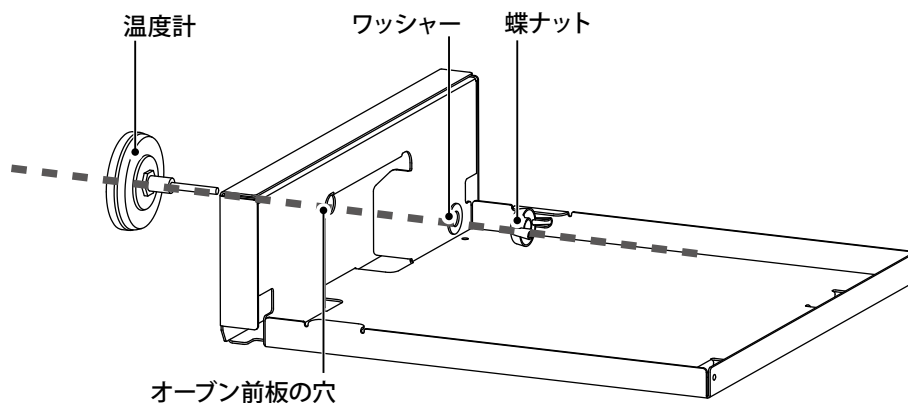
内装箱から部品を取り出し、包装材を取り除いてください。



温度計を取り付ける

オープン前板の穴に、温度計のピンを差し込み後、ワッシャーを入れて蝶ナットで締めてください。

※温度計を取り付け前に、蝶ナットとワッシャーを取りはずしてください。



使いかた

ケガしないように保護具（手袋など）を着用してから使用してください。

警告



指示

オープン温度は 330℃以下で使用する
オープンの温度が上がりすぎないように、燃料の量を調節してください。
熱の影響で、灰受けが大きく歪むおそれがあります。

注意



注意

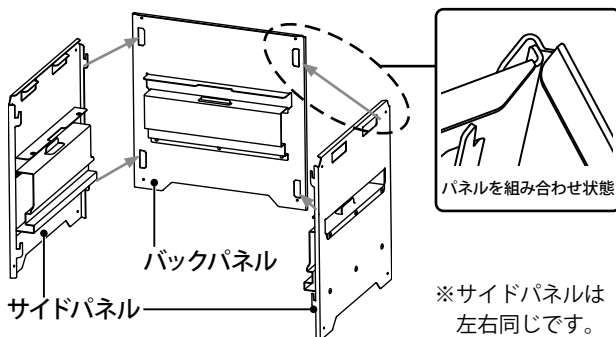
使用後の残り火の始末に充分注意する
残り火が消え、灰の温度が充分に下がってから灰処理をおこなってください。
やけどや火災の原因になります。

組み立てかた

- ・ 水平な場所を選び、本製品の組み立てをしてください。
- ・ 毛足の長い芝生や草のない場所を選び、設置してください。

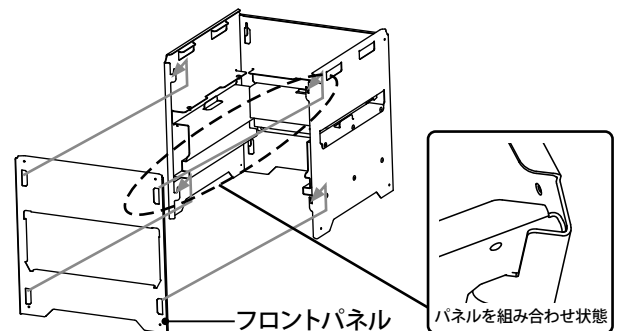
1 バックパネルとサイドパネルを組み立てる。

サイドパネルにある上下 2 箇所のツメをはめてください。
反対側のサイドパネルもはめてください。



2 フロントパネルを組み立てる。

フロントパネルを内側に入れ、ツメを片側ずつはめてください。

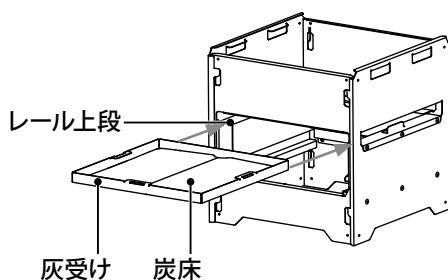


お願い

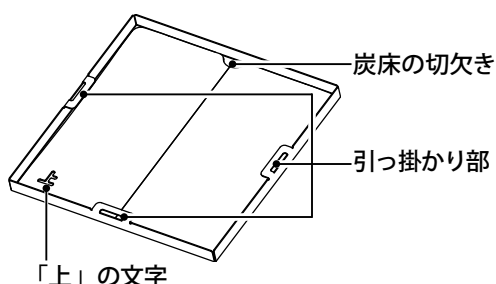
- ・ ツメ 8 箇所が穴から外れなく、確実に入っていることをご確認ください。

3 灰受けをいれる。

灰受けに炭床をセットして、内部にあるレール上段にのせて奥まで入れてください。

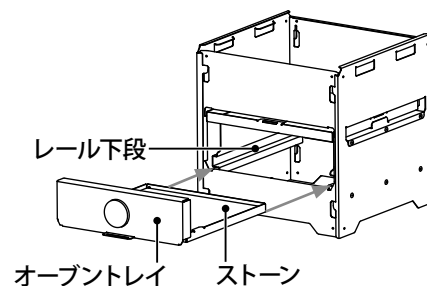


※灰受けにある引っ掛かり部（3 箇所）がない箇所に、炭床の切欠きがくるようにセットしてください。
炭床には裏表があります。抜き文字「上」が読めれば、裏表が正しくセットされます。

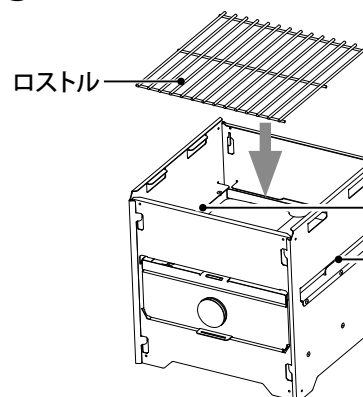


4 オープントレイを入れる。

オープントレイにストーンをセットしてから、オープン庫内にあるレール下段にのせて、奥まで入れてください。



5 ロストルを本体上方からセットする。

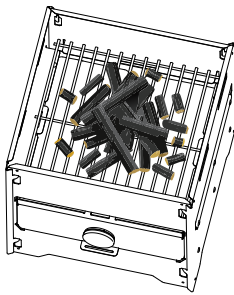


お願い

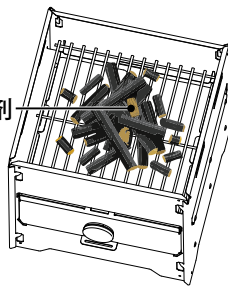
製品を移動させる際は、サイドパネルの開口部（持ち手）を持ってください。
燃焼中や製品が熱い状態では、絶対に触れないでください。

着火

- ①ロストルの中央に燃料を置いてください。 ②燃料のすき間に固形着火剤を 2～3個 入れてください。 ③柄の長いライターなどで着火剤に着火してください。



固形着火剤



燃料について

- ・燃料は炭と薪が使用できます。
- ・炭は長時間温度を安定して維持できますので、オープン調理をするときにおすすめです。
- ・燃烧室に収まらないサイズの薪を投入しないでください。
- ・濡れていたり、湿っている木材や炭を燃料にしないでください。不完全燃烧と煙の原因になります。

焼き網を取りつける

⚠ 注意



指示

おき火の状態で焼き網をのせる

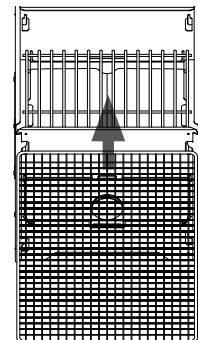
炎が直接あたると焼き網が変形するおそれがあります。変形した焼き網を無理に引き抜かないでください。けがの原因になります。

〈おき火とは〉

着火した炭が炎をあげずに、赤く静かに燃えている状態です。おき火は火力が安定しており、遠赤外線効果もあり調理に適しています。

本体上部の溝に焼き網をスライドさせて入れてください。

※焼き網の方が本体よりも大きい
ため、焼き網が燃烧室から出ます。
燃烧室から出た部分は加熱され
ないため、グリル調理時に焼け
た具材を置くスペースとして、
ご利用いただけます。



オープンで調理する

本製品は、オープンで調理をしながらグリルで同時調理することができます。予熱の待ち時間に、グリル調理をお楽しみいただけます。

料理とオープン参考温度

低温 140℃～160℃：プリン、マカロン、焼き芋など
中温 170℃～190℃：ケーキ、ラザニア、クッキー、パンなど
高温 200℃～250℃：パイ、グラタン、ローストビーフ、スペアリブなど
超高温 300℃前後：ピザ、ナンなど

※本温度は参考です。

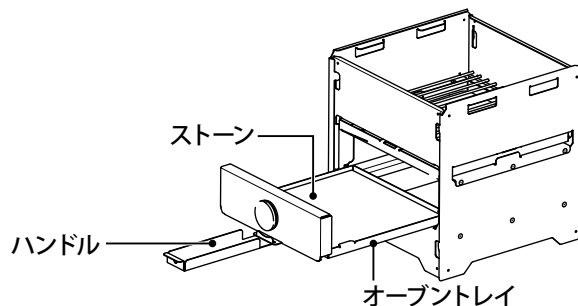
また、温度計は目安です。オープントレイを引き出して焼き加減や加熱の具合をご確認ください。

1 予熱する。

温度計を目安に料理に適した温度に予熱してください。温度は燃料の量で調節してください。着火して、勢い良く燃えはじめてから約20分経過して、おき火になるとオープンの温度が上昇してきます。火ばさみや鉄の棒などを使用して、おき火を炭床にまんべんなく広げると、オープン内の温度が均一になりやすくなります。

2 予熱が完了したら、食品・食材を入れて調理する。

- ①ハンドルを温度計の下にある長穴に差し込み、オープントレイを引き出してください。ストーンの上に食品・食材を置いてください。ハンドルを押し、オープントレイを閉じます。
- ②オープントレイを引き出して、焼き加減や加熱の具合を調整してください。



お願い

- ・調味料や油脂、出汁などがストーンに付着する可能性があるものを調理する際は、オープンペーパー、アルミホイル、スキレット（又は鉄板）等をストーンの上においてご使用ください。調味料がストーンに付着すると、ストーン内部に入り込み、加熱によりストーンにひびが入ったり、破損することがあります。
- ・オープン庫内は、灰受けに灰が多く溜まってくると温度が上がりにくくなることがあります。長時間使用する場合は、灰が多く溜まる前にオープンをご使用ください。

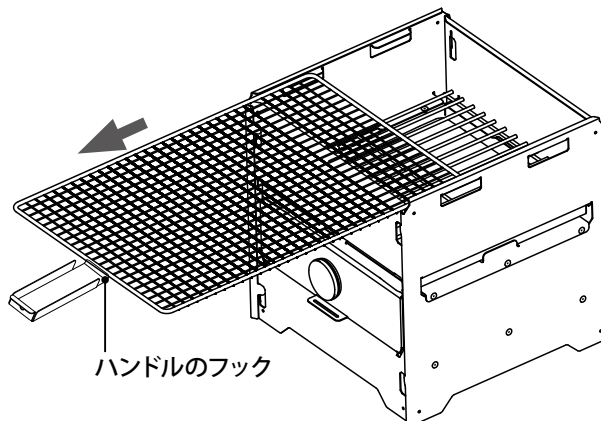
燃料の継ぎ足しかた

焼き網を使用している際は

①ハンドルのフックを網に引っ掛けて、焼き網をスライドさせてください。

②燃焼室に燃料を継ぎ足してください。

※網に物がのついたり変形し、途中で引っかかる場合はハンドルで無理に引っ張らず、耐熱手袋でスライドしてください。



消火と灰処理のしかた

消火

炭や薪が燃え尽き、灰が冷えたときが消火です。

※緊急時以外は、水を掛けて消火しないでください。

水で緊急消火後、使用する際は本体の各部品の変形やストーン割れなど異常がないことを確認してからご使用ください。

灰処理のしかた

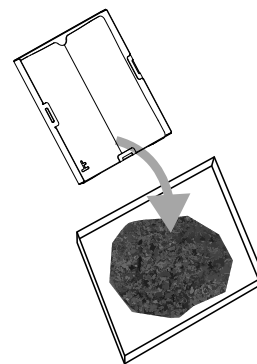
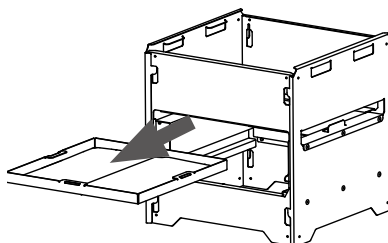
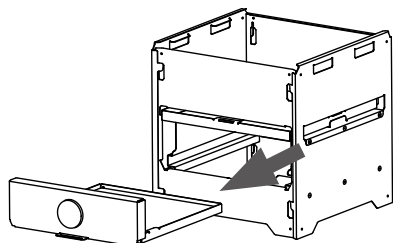
完全に燃料が燃えつき、十分に冷えたことを確認してから灰処理をおこなってください。

①オーブントレイを取りはずしてください。

オーブントレイには抜け止めがありますので、オーブントレイの前側を少し持ち上げて取りはずしてください。

②灰受けを取りはずしてください。

③灰を受けるトレイなどを用意して、灰受けを傾けて灰を落としてください。

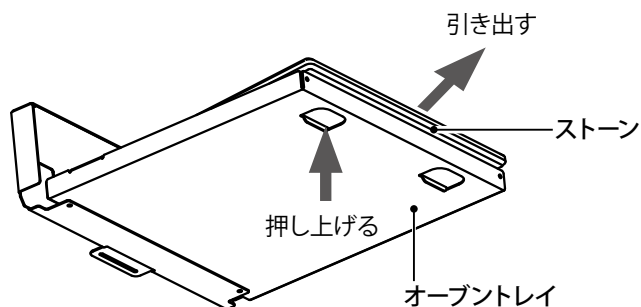


※灰の廃棄は、各自治体や施設の管理者の指導に従ってください。

ストーンの取りはずしかた

ストーンは蓄熱しているため、他の部品と比べて冷めるのに時間がかかります。十分に冷えてからストーンを取りはずしてください。

オーブントレイの裏側から、押し上げて浮いたストーンを持って引き出してください。



分解・収納のしかた

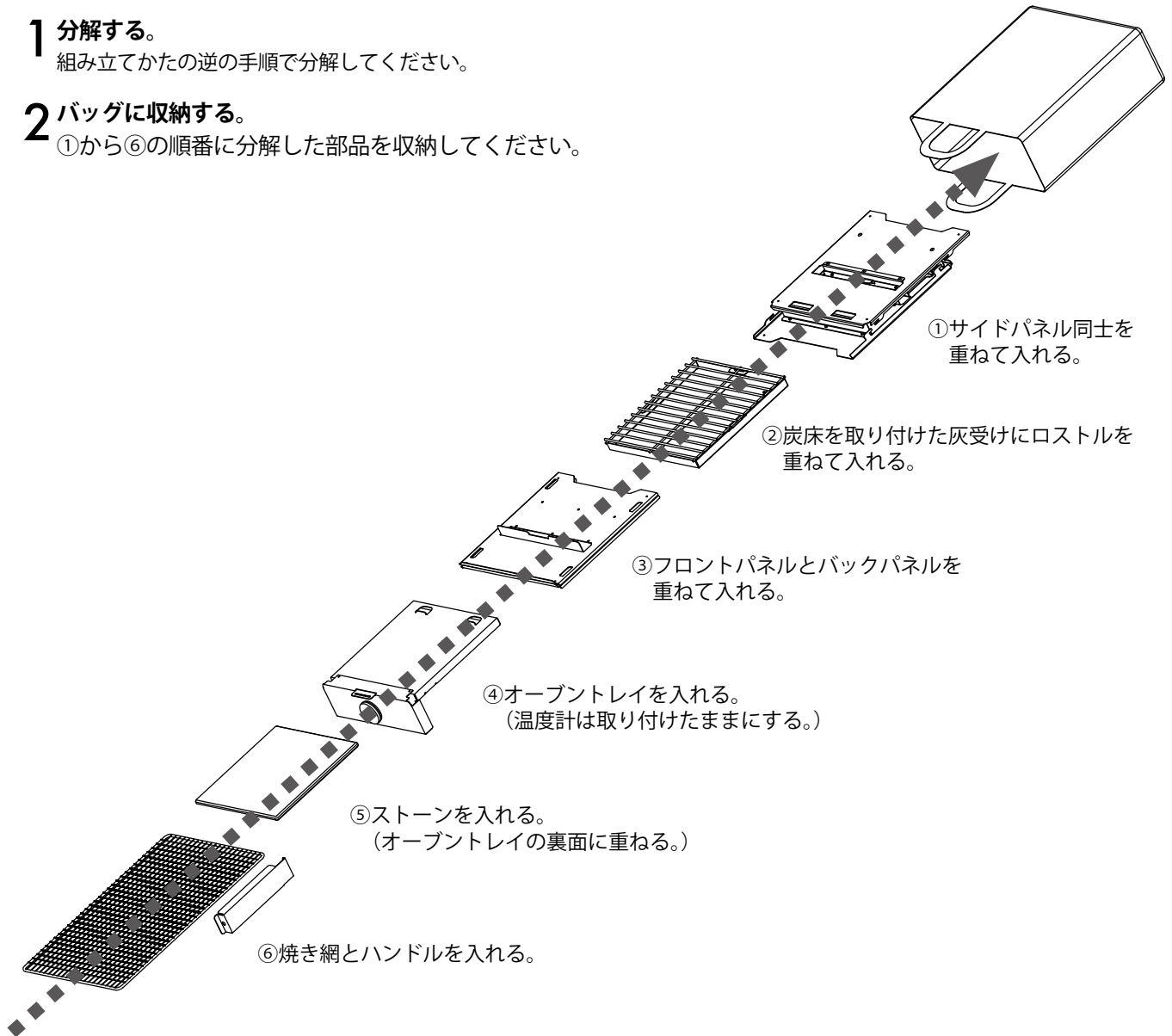
付属の収納バッグに、本製品を分解して収納します。

1 分解する。

組み立てかたの逆の手順で分解してください。

2 バッグに収納する。

①から⑥の順番に分解した部品を収納してください。



お手入れのしかた

お手入れをする際は、完全に燃料が燃えつき、灰処理をしてからおこなってください。

- ・油汚れや焦げ付き、塩分などは食器用洗剤で汚れを落としてください。
- ・本体の各部品を水に浸したり、水を掛けて丸洗した際は、乾いた布で拭いてから、完全に乾燥させてください。
- ・ストーンにチーズなどの焦げ付きがあるときは、ハンドルにあるスクレイパー部で削り落としてください。

保管

- ・直射日光の当たらない風通しの良い場所で保管してください。
雨がかかる場所や過度の湿気がある場所に本製品を置かないでください。
- ・バッグに収納した本製品の上に重いものをのせないでください。
部品が変形して、組み立てができなくなるおそれがあります。
- ・お子様の手の届かないところに保管してください。

廃棄のしかた

- ・灰の廃棄は、各自治体や施設の管理者の指導に従ってください。
- ・製品の廃棄は、各自治体の指導に従ってください。

仕様

型式名の呼び	EN-CB1
品名	バーベキューグリル
外形寸法 (焼き網を含まず)	組立状態：高さ 313mm × 幅 310mm × 奥行 312mm 収納状態：高さ 120mm × 幅 303mm × 奥行 375mm
オープン庫内寸法	高さ 65mm × 幅 243mm × 奥行 240mm
燃料	炭・薪
質量	約 8.7kg
耐荷重	約 8kg
材質	本体、ハンドル：ステンレス ストーン：セラミック 炭床：黒皮鉄 ロストル、焼き網：鉄 + メッキ
付属品	ハンドル、収納バッグ、焼き網

部品交換について

- ・交換部品は、必ずトヨトミ純正部品（指定された部品）をご使用ください。
- ・部品のお買い求めは、弊社のお客様相談窓口（0120-104-154）までお問い合わせください。
トヨトミ公式オンラインストア（<http://store.toyotomi.jp/>）でもお買い求めいただけます。

部品交換のときの注意

- ・ご自分で部品交換をされる場合は、下記の項目を守り、やけど、けがなどしないように注意しておこなってください。
- ①やけどしないように、完全に消火し冷えたことをご確認ください。
- ②灰を取り除いてください。
- ③手をけがしないように、手袋をはめてください。

炭床の交換 商品コード 13243671

- ・熱変形して炭床が灰受けの高さと同じになったときが、交換の目安です。
- ・炭床は消耗品です。1 シーズンに 1 回の交換をおすすめします。

ロストルの交換 商品コード 13243693

- ・熱により手直しができないほど変形したり、著しく腐食してロストルが折れたりした場合は、交換してください。
- ・ロストルは消耗品です。2 シーズンに 1 回の交換をおすすめします。

ストーンの交換 商品コード 13243670

- ・汚れがひどくなったり、割れた場合は交換してください。

保証とアフターサービス

- ・故障が発生した場合は、お買い求めの販売店または弊社のお客様相談窓口（0120-104-154）までお問い合わせください。
- ・本製品には保証書がついています。
- ・保証期間は、お買い求め日もしくは商品到着日から 1 年間です。
- ・保証をお受けになる際は、保証書をご提示ください。
保証書の無料保証規定により無料修理対応、製品交換、補修部品のお届けを致します。
- ・保証期間が過ぎていても、部品交換すれば使用できる場合には、有料で補修部品をお届け致します。

お客様相談窓口

株式会社 トヨトミ お客様相談窓口



0120-104-154

受付時間 月曜～金曜 午前 9 時～午後 5 時（祝日は除く）

FAX 052-857-1220

ホームページ <https://www.toyotomi.jp/>

EN-CB1 バーベキューグリル 保証書

型式 EN-CB1

保証期間：お買い求め日もしくは商品到着日から 1 年間

※お買い求め日もしくは商品到着日 年 月 日

※お客様 姓 名 様
〒□□□-□□□□

ご住所
電話番号 () -

保証書は、本書記載内容により無料修理対応、製品交換、補修部品のお届けをお約束するものです。

お買い求めの日もしくは商品到着日から左記期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

※販売店名・住所・電話番号

※印欄に記入がない、あるいは購入・支払いを証明するものがない場合は有料修理となりますから必ず確認し、購入証明書（領収書）を保管してください。

【無料保証規定】

1. お買い求め日もしくは商品到着日から保証期間中に、取扱説明書に従った正常なご使用状態で故障が発生した場合には、本書記載内容により、弊社が無料修理対応、製品交換、補修部品のお届けを致します。

簡単な調整や部品交換で機能が復元可能な場合は、お客様に調整頂く場合や、部品の交換をお願いすることがございます。保証の適用外に該当するものは有料対応、もしくは対応をお受けできない場合がございます。

2. 製品保証をお受けになる場合は、本書あるいは購入日がわかるレシートや領収書、納品書・支払いを証明するものをご提示のうえ、お買い求めの販売店又は弊社のお客様相談窓口にご依頼ください。

3. ご転居やご贈答品等でお買い求めの販売店に修理を依頼できない場合は、弊社のお客様相談窓口までお問い合わせください。

4. 製品保証期間内でも、次の場合は有料になります。

(イ) 取扱説明書に従わない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。

(ロ) 製品を使用した後に判明した下記項目

- ・ 部品の不足
- ・ 汚れ、焦げ、焼け、錆、傷、打痕、剥がれ、割れ、変形

(ハ) 他社製品との組み合わせによる故障及び損傷。

(ニ) お買い求め後の製品の転倒、落下、衝撃、輸送等による故障及び損傷。

(ホ) 製品の不具合等に関連して生じる二次的、あるいは、派生的に発生した損害、損失及び費用。

(一例としてはテントの破損やレンタル製品の破損修理・保障等)

(ヘ) 火災、地震、水害、塩害、落雷、その他の天災地変、公害、その他の環境要因による故障及び損傷。

(ト) レンタルなどで多くのユーザーが使用された場合による故障や損傷、部品交換及びメンテナンス費用。

(チ) 本書にお買い求め年月日もしくは商品到着日・お客様名・販売店名の記入のない場合、又は字句を書き替えられた場合。通信販売等で購入され、それを証明する商品の送り状・支払明細書の提示がない場合。
ネット販売等を利用した個人売買品や譲渡品、中古品の修理。

(リ) 日本国外で購入した場合及び日本国外で使用した場合。

(ヌ) 修理のご依頼に際して本書のご提示がない場合。

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

●この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理対応、製品交換、補修部品のお届けをお約束するものです。

従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い求めの販売店または、弊社のお客様相談窓口までお問い合わせください。

●お客様の個人情報は、弊社規定により、厳格に管理します。保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場がありますので、ご了承ください。

株式会社 

〒467-0855 名古屋市瑞穂区桃園町5番17号